

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1989
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.62, No.12 (1989. 12) ,p.401-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	田口精一教授 平良教授 退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19891228-0401

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

本号は、田口精一教授と平良教授の退職記念号である。

両教授の学恩に浴した多数の研究者の協力を得てここに記念号を刊行することができ、編集委員会として、関係各位に対し、心から謝意を表するものである。

田口教授と平教授の活躍は、別記の経歴と業績一覧によって明らかであるが、両教授は共に、敗戦直後の研究上恵まれた状況とはいえない義塾に学び、引き続き大学に残り、公法と比較法の分野で、法学部の発展を支えてこられた。

両教授は当時の義塾で手薄になった領域を専攻され、文字通り多くの業績を残された。同時に両教授とも後進の育成にも尽力され、それぞれの門下から多数の研究者が育っている。

未だに多大の活力を示しておられる両教授を送り出すことは義塾の学問的損失であり、また、親しくご指導とご交誼を賜った後輩として惜別の感にたえないものがある。今後も、両先生が勤務なさる大学は変わっても、ますますの活躍によって私達後輩を力強く導いて下さることをお願い申し上げます。

そして、両教授の健康と研究の発展を祈念し、両教授が残した伝統を後輩が発展させてゆくことを、ここにお誓い申し上げます。

なお、両教授の経歴記載はご本人の意向に従ったもので、必ずしも統一されていない。

平成元年一月一〇日

法学研究編集委員会